

## 審査基準兼配点表

審査項目	審査内容	配点
1. 履行実績（過去の実績）	- 提案者の大学・官公庁・企業における VI 作成の実績の質と数	5 点
	- 提出された 3 点の VI デザインの完成度、創造性、実績への適応性	10 点
	- デザインがクライアントの要望に適合し具体的な効果を上げた事例	10 点
2. 積算根拠	- 提案された積算根拠の明確性、妥当性、コストパフォーマンスの良さ	5 点
3. 実施体制	- 提案者の業務実施体制図と実行可能性	5 点
4. 実施内容詳細	- 提案する VI の方針や考え方の明確さ	15 点
	- イメージさせるための工夫	10 点
	- 大阪公立大学のプロジェクトであることを明確に示しているか	15 点
	- SI コースの属性（わくわく、邂逅、究理、気づき・発見、挑戦的）の表現	10 点
	- 多様なメディアで活用可能にするための具体的な考え方、コストや技術的な課題とその対応策	10 点
	- Web ページへの VI 反映の効果	5 点

### 審査項目の細目

#### 1. 履行実績（25 点）

- 提案者が多様な分野（大学、官公庁、企業）での経験を持つか。（5 点）
- 提出された過去 3 件の VI デザインの完成度と成果。（10 点）
- デザインがクライアントの要望に適合し、具体的な効果を上げた事例があるか。（10 点）

---

## 2. 積算根拠 (5 点)

- 提案された費用が業務内容に対して妥当であるか。
- コスト積算の根拠や説明が十分か。

---

## 3. 実施体制 (5 点)

- 担当チームのメンバー構成が適切で、VI 作成に必要な専門知識を備えているか。
- プロジェクト遂行に必要な人員・設備・リソースが十分であるか。

---

## 4. 実施内容詳細 (65 点)

### 1) VI の方針・考え方 (15 点)

- 仕様書及び別紙 1 を踏まえたうえで、提案者が作成する VI のデザインコンセプト、ターゲットへの訴求力、またそのコンセプトにする理由を具体的に具体的に記載されているか。また、提案者が考える成功する VI の定義が記載されているか。

### 2) 広告の役割と効果 (10 点)

- 提案する VI を基に広告を作成した場合、どのようにターゲット層にプログラムの特徴を効果的に伝えるか具体的に想定されているか。また、その広告が視覚的、感情的に与える影響について、想定される成果を含めて良く考えられているか。

### 3) 大学プロジェクトの認知度向上 (15 点)

- SI コース及びその関連事業が大阪公立大学の一環であることを明確化するためのデザイン要素 (例: ロゴ配置、カラー選定) や、その要素をターゲットに自然かつ効果的に認識させる方法についてよく考えられているか。

### 4) 属性の表現方法 (10 点)

- SI コースを象徴する形容詞や属性について、視覚的、構造的、または感情的にどのように VI に組み込むかについてよく考えられているか。(わくわく、邂逅、究理、気づき・発見、挑戦的) のいずれか一つ以上の説明で良い。

### 5) 拡張性 (10 点)

- 提案する VI が、印刷物、Web サイト SNS、看板、プロモーションビデオなど多様なメディアで活用可能にするための具体的な考え方を説明されているか。また、その運用におけるコストや技術的な課題への対応策が記載されているか。

### 6) Web ページへの VI 反映 (5 点)

- 現在の Web ページ<<http://www.coil.osaka-cu.ac.jp/>>を提案する VI に変更した場合の訴求効果の変化について、どのような事が期待もしくは予想できるのか具体的に示されているか。